

# 2023年度 定期総会開催

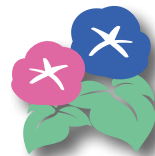
二松学舎大学  
父母会報



平成5年5月10日創刊  
令和5年7月31日発行  
(第121号)

二松学舎大学父母会  
(本部・事務局)  
東京都千代田区三番町6番地16  
二松学舎大学学生支援課

題字は  
故 観山貞広常吉先生書



二〇二三年五月二十七日(土)午後一時三十分、九段一号館中洲記念講堂において、二〇二三年度二松学舎大学父母会定期総会が開催された。

総会に先立ち、二松学舎大学専任講師の戸辺玲子先生による講演「株式流通市場を理解するーVTS Sを用いた授業運営ー」が行われた。

午後二時四十分、藤井由紀子氏の司会により総会が開始され、染井直人父母会長、中山政義学長の挨拶の後、丸田綾議長により議事を進行了た。

第一号議案の二〇二二年度事業報告並びに決算については、審議の結果、原案のとおり承認された。

第二号議案の二〇二三年度役員選出については、会長に小平修氏、会計監査に中台則子氏と渡邊昌子氏が決定した。

第三号議案の二〇二三年度事業報告ならびに予算については、審議の結果、それぞれ原案のとおり承認された。

議事終了後、二〇二二年度で役員を退任した染井直人氏、菅波久美子氏の二名に中山学長から感謝状が贈呈され、総会は終了した。



### ※父母会活動

「会長就任のご挨拶」～父母会活動の紹介～

父母会会長 小平 修

新入生の保護者の皆様、お子様の二松学舎大学へのご入学おめでとうございます。また、在校生の保護者の皆様、日頃より父母会の活動に対しご理解とご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

二松学舎大学父母会は、平成五年四月に設立され、これまで多様な活動を通じて、子ども達の学生生活の充実に寄与してまいりました。本会報では、この歴史ある父母会の活動についてご紹介し、会長就任の挨拶とさせて頂きたいと思っております。

父母会は一年生から四年生までの保護者十六名と大学の学務局長が役員となり、「役員相互が無理のない範囲内で活動すること」をモットーに、子ども達に寄り添った活動を行っています。活動の内容は大きく分けて三つあります。一つ目は、学生の学びや生活への援助です。

教員や公務員の採用試験、資格試験などの合格者に対する奨学金の支給や、サークル活動等への助

成、学生応援弁当の提供を通じ、子ども達の学習面や生活面をサポートしています。

二つ目は、大学、大学行事への支援です。

キャリアセンターが行う就職指導や教職支援センターの各種講座、学生団体が行う新入生歓迎式典などに対し助成するとともに要望等も伝え、大学行事の活性化を支援しています。

最後に、保護者同士の交流、情報発信についての取り組みです。

地区別懇談会の開催、創縁祭での「無料喫茶室」参加などに加え、父母会報やホームページでの情報発信、保護者間の交流、情報共有を図っています。

今年度も、会員の皆様、大学職員の方々、本学同窓会である「二松学舎松苓会」などの関連団体の方々との関係も大切にしながら、子ども達がより良い環境で学ぶことができるよう、活動してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### ※新役員紹介 ※役員に就任して

◆石川真由美

この度、父母会役員をさせて頂いたことになりました。活動を通じて、学生生活の更なる充実、伝統ある大学の充実や発展に向けて、一所懸命務めさせて頂いたと思います。

◆鈴木さやか

本年度から新役員としてお世話になります。国際政治経済学部国際経営学科一年 鈴木琉心の母親鈴木さやかと申します。まだまだ委員の内容もほとんど把握出来ておらず不安の方が大きいですが、皆さんと力を合わせ、楽しく頑張っていきたいと思っております。

◆反町香理

子どもが憧れていた大学に入学することができ、私も子どもの学生生活に興味を持っておりました。そんな中、父母会の役員としてお手伝いさせて頂いただけの機会をいただき、嬉しく思います。

◆滝口真理子

今年度より父母会役員を務めさせて頂いたこととなりました。父母会定期総会に参加した際に、学園祭での無料喫茶室開催の他、大学生活が充実したものとなるようアイデアを出し合い、様々な活動をされていることを伺い、少しでもお

手伝いさせて頂いただければと思います。微力ではございますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

◆古木幸江

この度、父母会役員をさせて頂く事になりました。国文学科一年の古木です。大学は親が行く事も無く様子が分からないと思っていました。定期総会へ参加し父母会の活動を知り、私も少しでもお役に立てたいと思いました。

◆宮下りさ

父母会役員に参加する貴重な機会を与えて頂き、ありがとうございます。学生、保護者、教職員の皆様のご支援が出来るよう、また活動を通じて、新たな出会いや課題と向き合い、楽しみながら自己成長が出来ればと思います。

◆山田則子

この度、父母会に参加させて頂いたことになりました。娘共々新たな環境でスタートをきる事ができました。父母会の先輩方や、学校のお役に少しでもなれるよう、努めていきたいと思っております。加えて、人との出会いは一生の宝物と思っておりますので、出会えた皆様と楽しんで活動ができれば幸いです。

◆山田則子

どうぞ宜しくお願いいたします。

### 2023年度役員一覧

役職	氏名
会長	小平 修
副会長(学務局長)	須藤 和敬
副会長	藤井由紀子
会計監査	中台 則子
会計監査	渡邊 昌子
会計	丸田 綾
	鈴木 志保
広報	武石 智実
広報	小平由紀子
広報	矢島佳保里
広報	滝口真理子
	反町 香理
	古木 幸江
	石川真由美
	山田 則子
	宮下 りさ
	鈴木さやか

## ごあいさつ

教育研究活動の  
更なる推進を目指して

理事長 水戸英則



父母会の皆様には、日頃大変お世話になっております。早速ですが、過日中山学長の論文に関する報道があつて以降、学生及び保護者の皆様には大変ご心配をおかけしておりますこと、お詫び申し上げます。現在学生の方々のさまざまな不安解消のため、各学部の先生方が中心となり、皆さんの意見を聞き取り、その対応策を策定しているところです。

また、本件については、現在外部第三者委員の構成による調査委員会の結論を待っている段階です。今後とも学生の皆さんへの具体的な対応策を行う過程で大学を支援し、適時適切に状況を説明して参る所存です。で、よろしくお願ひ致します。

さて、創立一四〇周年記念事業の

一環として公表した「N2030Plan」は今年で五年が経過しました。この長期計画は「東京所在の中堅私立大学から更に優れた私立大学へのブランドアップ」を目標に掲げ、附属の中学・高校と一体で、教育・研究、経営面等で改革を進めるものです。

この五年間、役員をはじめ教職員方のご努力もあつて、大学では、国際経営学科、歴史文化学科、国際日本学研究科の開設等による組織体制整備、グローバル化の推進、数理・データサイエンス科目等を含む新カリキュラムの導入等、多方面で教育改革を実施することができました。

この間、法人の財務状況は良好な状態を保っており、今年三月に受審した(株)格付投資情報センターによる格付けでは、シングルAマイナス(安定的)を維持。総資産から総負債を差し引いた正味資産も二十九億円増の二百七十三億円となり、着実に増加しております。

また、社会の大変革が進む中、時代のニーズにあつた教育研究活動を推進するため、昨年七月には「教育学DX推進室」を設置しました。デジタル化や教育の質保証に注力し、学修者本位の教育の実現に取り組んでおります。更には、十八歳人口の急激な減少を考えますと、五〜十年後における学生募集等競争力維持のためにも、文理融合型の学部新設の可

能性について、議論を開始しているところです。

父母会はじめ関係各所の皆様におかれましては、引き続きご支援のほどお願ひ申し上げます。

## ご報告

副学長 高岸直樹

父母会の皆様におかれましては、本学教育研究活動にご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

まず、一般の中山学長の研究業績に関する報道に関し、大変ご心配をおかけしていることを大学執行部としてお詫び申し上げます。

ここで、本件についての経緯をご説明致します。本件は報道前から学内者による調査が進められており、また、それとは別に本学の研究活動の不正防止に関する規程に基づき、今後学外の有識者が過半数となる調査委員会によつて、より客観的な調査が行われます。調査中のため、内容の詳細なご説明は控えますが、中山学長は、学生の静謐な学修環境を乱すことのないよう、また、支障が生じていないものの、報道の当該者が大学運営を行うことへの懸念が示されていることを考慮し、調査結果が示されるまで、学則に則り学長の

職務を副学長に代理願ひたい旨申し出られ、理事会で承認されました。現在は副学長以下、教職員力を合わせて、学生の学修環境の保持に努めております。今後も父母会の皆様には、随時、ご説明させていただきますと考へておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

さて、この三年間、新型コロナウイルス感染症対策のため、制約を余儀なくされた学生生活もようやく正常化し始めました。授業やゼミ活動、課外活動はもちろん、留学や海外語学研修についてもより活発化しています。

また、社会が大学に期待することが年々増加する中、本学では、昨年度入学生より新カリキュラムがスタートしています。数理・データサイエンス科目の拡充等、発展する社会に貢献する人材像を踏まえた科目編成を行い学生の成長を促しています。

大学生生活で得られる経験は、学生の皆さんのこれからの人生において大変貴重なものです。今後も、本学は学生を第一に考えた大学運営を行つてまいります。父母会の皆様におかれましては、なお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



## 大学に入学して

国際政治経済学部国際政治経済学科一年

川端下 耀 司

私の大学生活における目標は「成長」である。大学は自分の入る部活やサークルはもちろん、自分が受ける講義まで自分で決める。そんな場である大学での生活は、今までで一番個を成長させられる場だと思う。

高校時代、なんとなくしか考えずあいまいだった将来の目標が、大学に入り講義を受けていくうちにだんだんと明確になってきた。大学の授業は、自分の興味のあるものに分野を絞って学び始めるため、学ぶ分野のスタートは絞られているが、そこから興味のあるものの範囲を広げることができる。その影響で、興味のあるものを積極的に調べるようになり「これは思っていたのとは違う。でもこっちは本当にやりたいことだ。」と、興味のある物事について深くまで知るようになった。だから私は大学生活において、勉強面で自分を成長させたい。

私の力だけでは、今のようこの二松学舎大学に通い、今のこの生活を続けられはしない。この生活を続けられているのは、私の家族が、友人が私を支えてくれているからだ。このことを忘れず、大学生活では「成長」という形で恩返しをしたい。



文学部国文学科一年

## 中原 小晶

入学してから僅かな時間で、私は今までの自分の考え方が間違っていることに気が付いた。自分の生きてきた世界の小ささを知り、今までの自分の考えの愚かさを恥じた。

私は元来文系人間であり、文学に関しては人一倍興味を持っており、文学に関する自負がある。それ故、私の興味や好奇心に応えてくれるこの授業は大変魅力的で面白く、感動の連続だ。特に他者の意見に触れることで自身の新たな考えを、自分が好きだと思っ言い回しを見つけたたり、自分が好きな文学に浸って過ごせることが最大の魅力である。現に、私自身が授業で様々な価値観に触れたことで、僅かながら自分の世界を広げられたと感じている。入学してからの日々は新しい発見に溢れ、今の私は誰より幸せな日々を送っている。

実を言えば入試制度だけで選んだことは望んだ進路では無かった。しかし本意な人生を、今の私は最高に楽しんでい。進学先にここを選んだことに一切後悔はない。

自分の歩む人生を本意であれば本意であれ、実りあるものにするのは自己次第だ。だから私はここで自分の人生を実りあるものにするため、今日も自分の「好き」を、文学を追究していく。

## 大学に入学して

国際政治経済学部国際政治経済学科一年

## 宮下 陸

私が入学してから一つ大きく変化したことがある。それは「自分らしい生き方」をするようになった事だ。入学する前までは他人の目を気にし、単一の仲良しグループで生き、自分よりもグループを優先して生活していた。しかし大学内外で一気に生活の範囲が広がった事で色んな人を目にし、出会いが増えた。それが刺激となり精神的に成長できたのであろう。今では所属しているフットサルサークルで初対面の先輩や同級生に積極的に話しかけに行けるようになり、気になっていたラーメン屋にさえ一人で入れるようになった。確かに小さな変化であるが視点を変えれば大きな一歩である。さらに今までは「他人と自分」を比較しすぐに劣等感を抱いてしまっていたが比較対象を「過去の自分と今の自分」で比較する事で自分の成長を感じられるようになり、自分のことが好きになり日々を楽しく送れるようになった。

これからの大学生活は就活期間も含め三年半。多いか少ないかは分からないが、どれだけあっても足りないというの最近実感してきた。だから少しでも大学生活に悔いを残さないように「ハングリー精神」だけは忘れずに色々なことを挑戦し経験、吸収していきたい。

# POP 2023



文学部国文学科二年

竹石翔馬

新入生歓迎式典2023の責任者を務めさせていただきました、学生会執行委員会 会長の竹石と申します。今年の新入生歓迎式典2023のテーマは、桜疾風（さくらはやて）を選ばせていただきました。桜疾風（さくらはやて）のコンセプト『春に吹く強い風、春疾風に負けないよう新生活に立ち向かい、桜が舞い散り、風に運ばれるように様々なところに足を運び挑戦をしてほしい。』を掲げ、新入生歓迎式典2023を開催いたしました。新型コロナウイルスの感染状況を学生会

## POP2023

執行委員会内で都度確認し、大学側との協議を何度も重ね、参加していただける皆様方が安心安全に過ごせるイベントにいたしました。去年の反省を生かしつつ『どのようにしたら、新入生が楽しんでくれるのか、どうしたら新入生が「二松学舎大学に入学してよかった。」と思ってもらえるイベントになるのか』を考え、話し合いを重ねました。各団体の良いところや強みをどのようにすれば、新入生に伝わるのか考えてパフレット「一期一会」を作成したり、来場者として来て下さった新入生に新入生歓迎式典2023の文字が入った、タッチペン付きボールペンを配布したりいたしました。反省点は多々ありましたが、成功を収められたと思います。また、新入生歓迎式典2023では、学生会執行委員会の役員達の成長を実感できました。学生会執行委員会のメンバーで力を合わせ、一つの目標を目指したからこそ、新入生歓迎式典2023が成功したのだと思います。六月に行われる「九段POP 2023」や十一月に行われる「創縁祭2023」では、一年生も加わり、新しい学生会執行委員会並びに学園祭実行委員会として動くことになりそうです。今後の行事も成功を収められるよう、ご理解・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 新入生歓迎式典 2023



文学部都市文化デザイン学科三年

### 及川 楓 葉

九段祭POP2023責任者を務めさせていただきました、文学部都市文化デザイン学科三年の及川と申します。今年度も文化団体が日頃の活動の成果を発表する学内向けの文化祭として六月十八日(日)に学生会執行委員会が主催となり、九段祭POP2023を九段キャンパスにて開催いたしました。「青嵐(せいらん)」というテーマ、「青春をまきおこす革命の嵐。初夏の青々とした草木や野原を吹き渡っていく強い風のように新しい風を起こそう。」というコンセプトを掲げ、意気込みも新たに今年度の九段祭POPを皆様が存分に楽しめるような行事にしたいと役員一同準備を進めてまいりました。

今年度は昨年度同様に対面開催を行うことができました。しかしながら昨今の情勢を受けまして九段祭P



## 新入生歓迎式典2023

OPもコロナ禍以前とは姿形を変えて開催しております。今年度九段祭POPに参加された団体の皆様方には多くの制約があるにも関わらず、開催日当日に最高の発表を行えるように準備をしている姿を多数お見受けしました。教室での発表や中洲記念講堂での発表は団体という垣根を越えて楽しむことができたのではないかと存じます。また学生会執行委員会では毎年恒例企画となっているビンゴ大会を始め、思い出を撮影し共有することができる「フォトスボット」の設置を行うといった企画を準備いたしました。それぞれ来年度以降への課題や改善点は見受けられましたものの、どの企画も来場者の皆様の思い出のひとつになれていれば幸いです。

今年度は梅雨時期であるにも関わらず終日天候にも恵まれ、沢山の来場者の皆様にお越しいただきました。参加していただいた団体の皆様、九段祭POP2023に足をお運びくださった皆様のご尽力のおかげで今年度も無事開催することができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。来年度以降も役員一同団結してより多くの来場者の皆様に満足していただけるような九段祭POPを目標に精進していきたいと存じます。今後とも学生会執行委員会を何卒よろしく願いたします。

●今年の採用状況と今後の見通し

我が国は現在、GDPが二パーセント成長し、株価も上がり、景気は「緩やかに回復」とのことです。一方で、毎月のように「〇〇が平均で一割値上げ、今年二度目」などのニュースが出る、どうしても好景気とは思えません。所謂「実感なき経済成長」が続いており、

さて、こうした経済状況の中、各企業の新卒採用状況がどのようになっていくかと言うと、「活発」の一言に尽きます。

まずは有効求人倍率ですが、二〇二二年三月卒の時の大学新卒の有効求人倍率は一・五倍でしたが、二〇二四年三月卒、つまり来年三月に卒業予定の場合は、一・七一倍になっています。

次に採用予定者数についてですが、現時点で昨年度より増やすとしている企業は全体で三七・一パーセント、従業員一〇〇名以上の企業に限定すれば、四六・六パーセントが増やすとしています。

さらに二〇二五年三月卒の採用に関しても、増やすが一・七パーセント、今年と同程度とするが六〇・七パーセントと引き続き精力的に採用活動を行うとしています。

企業の採用活動が活発な背景としては、アフターコロナ、ウイズコロナを見据えた対策、インバウンドが回復傾向にあること、何よりも少子高齢化・人口減少による労働力不足に対して備

えておきたいという意図があります。その為、所謂「売り市場」の状況が、数年は続くと考えられています。

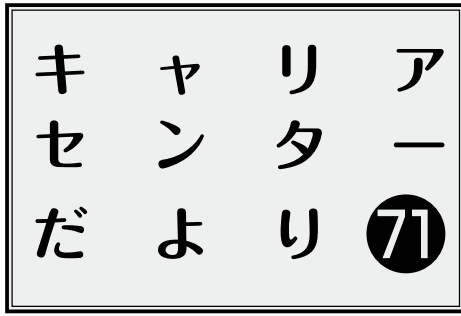
一方で五四・五パーセントの企業で、今年の会社説明会に参加した学生が減少(若しくは大幅減)していると回答しており、採用活動に危機感を抱いています。実際に苦戦を強いられると回答した企業は、全体の五七・三パーセントにもなりません。

これは学生が冷静に状況判断し、企業とのミスマッチを避けるため、十分な企業研究を行っているからと推察されます。

このような状況から企業側は如何に学生に選ばれる企業となるか、また、優秀な人材をどのように確保していくかが課題となっています。今後はますます企業側の動向を注視していく必要が出てまいりました。

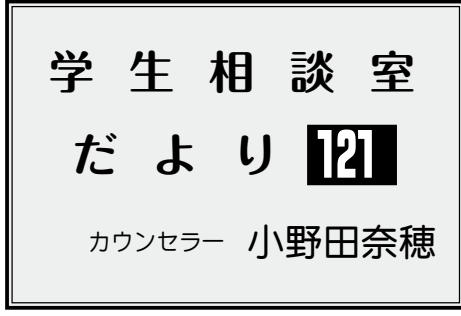
所謂「就活ルール」も見直され、早期選考に拍車がかかると思われます。自ずと学生諸君の準備も早期化していきます。そこで問題になるのは、学生時代の「学び」が深まらないうちに、対応を迫られることです。これからの大学におけるキャリア教育は、それへの対応が課題になって参ります。

本学キャリアセンターでは、社会情勢に則って、最適な支援を取り入れて参りますので、どうぞご期待ください。※文中の各数字は、(株)ディスコの二〇二三年五月の調査による。



今年度から完全に対面授業に戻り、大学に活気が戻ってきました。新型コロナウィルスの位置づけが5類に変更になったことで、私たちの生活も元に戻りつつあります。コロナ禍と呼ばれたここ数年は、オンライン授業であること

のストレスや人と会えない孤独感などの相談が多く増えました。非日常な日々が強いられたためその影響が出るのは自然なことと思えますし、予想もつきやすかったと思います。ですが、今年度は急激に元の生活へと戻ってきている中で、今になってじわじわとコロナ禍の数年の影響が出てきていることも実感しています。オンライン生活



により大学生である実感が持ていないまま就職活動に突入してしまい戸惑っている、大学に来ていなかったりで友達を作る機会を逃してしまい対面授業が再開しても大学になじめない、毎日通学することにうまく慣れない、自分はまだ感染の不安を感じているがマスクを外している人が多くて不安が募るなど、ここ数年の生活からの

急な変化に気持ちも身体も追いついていないといった相談が増えている印象を受けます。落ち着いたところに時間差でやってくる不調というのは、実はよく起ることです。ですが、時間差があるゆえに本人も周りも気づきにくいという点があります。気づかないうちに不調が続く、気づいたときにはずいぶん辛い状態になっていくというこ

ともあります。お子さんが最近いつもと様子が違う気がする、表情が冴えない、顔色がよくない、食欲がなさそうといった些細な変化にもし気づかれたら、周囲が早めに気にかけるのと本人にとつても不調の気づきの機会

になるかもしれません。学生相談室では、ご本人の利用はもちろんのこと、ご家族からの相談も受け付けています。お子さんの様子がいつもと違うけれどどう声をかけてよいものかわからないといったことがありましたらお気軽にご相談ください。



# 2022年度決算の概要

## 概要

2022年度二松学舎大学父母会の会員数は、2022年度入学者文学部521名・国際政治経済学部255名計776名、文学部・国際政治経済学部編入学生（3年次生）18名を新たに会員として迎え、2022年5月1日現在3,030名である。

2022年度は予算総額50,456,081円（前年度からの繰り越し金を含む）で、2022年5月28日（土）に行われた定期総会で承認された事業計画に基づき諸事業を推進してきた。

以下にその事業の概要を記載する。

### 1. [地区別父母懇談会]

2022年度の地区別父母懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響により地方への訪問は中止とし、7月30日（土）九段校舎においてオンライン併用のハイブリッド式にて開催した。また希望者による教職員との個別相談も、オンライン併用にて実施した。

大学からは学長、副学長、文学部長、国際政治経済学部長、学務局長、文学部・国際政治経済学部各教員はじめ学務局（学生支援課・教務課及びキャリアセンター就職支援課）の職員が出席し、懇談を通して大学教職員と会員（父母）との相互理解を図ると同時に、大学の現状、学生の大学生活及び就職の実情、単位修得等勉学の状況及び父母会の活動について説明を行った。

### 2. [教育研究振興助成]

2022年度の教育振興助成は、2023年2月に実施した海外語学研修（韓国・オーストラリア）の職員の引率に対し、旅費の一部を助成した。

他に、「ES実践講座」・「日本語検定」・「SPIテストセンター対策講座」等への助成、新入生教育助成として『学生生活スタートブック』の冊子を購入し配布した。

### 3. [課外活動助成]

書道部に、学外展会場借用費用として助成を行った。学生顕彰として、7名の学生・1つの団体に奨励金を支給した。助成は、「課外活動団体助成費取扱い要領」及び「学生顕彰取扱い要領」に基づき、実施している。

### 4. [大挙行事等への助成]

新入生歓迎式典「4月」に際し、新入生への来場記念品として、ねこ松ステンレスボトルを学生会執行委員会が配布し、その費用を助成した。

また創縁祭では、学園祭実行委員会からの援助額に基づき、費用の一部を助成した。

### 5. [卒業記念パーティー]

3月15日（水）に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送った。

代替措置として、卒業生全員に、一人当たり8,000円のアマゾンギフト券、ねこ松オリジナル缶プルセックを贈呈した。

### 6. [卒業記念品]

卒業記念品として卒業アルバムを贈呈した。

### 7. [奨学金]

学生の資格・能力取得育英を目的に、指定した資格取得や教員・公務員等各種採用試験合格者等56名に対して奨学金を支給した。

### 8. [弔慰金・災害見舞金]

2022年度の弔慰金・災害見舞金については、学生および会員（父母）6件に対し行った。「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱い要領」に基づいて実施している。

### 9. [父母会報の発行]

2022年度は、第117号（2022年7月31日）、第118号（2022年10月20日）、第119号（2023年1月20日）、第120号（2023年3月31日）の計4回発行した。

### 10. [外国人留学生支援に関する助成]

新型コロナウイルス感染症の影響で、外国人留学生との懇親会は開催しなかったが、国際交流センターが実施した外国人留学生を対象とした「日本文化体験行事」等の活動に対し助成を行った。

### 【特別事業費】

#### 1. 〈宮繕助成等〉

観葉植物設備（九段1号館・3号館・4号館のエントランスや共用スペースに配置及び手入れ等）補助・大学施設の補修に対する助成をした。

#### 2. 〈就職指導支援費〉

キャリアセンターの就職支援活動に対して助成した。

#### 3. 〈事業積立金〉

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを開始し、周年事業等に予算執行してきた。

#### 4. 〈創縁祭参加費〉

創縁祭の参加経費。2022年度は父母会運営の無料喫茶室を出し、その費用として支出した。

#### 5. 〈食育に関する助成費〉

例年、二松学舎松茶会と共同で実施してきた「100円朝食」「学生応援ランチ」に代わり、2022年度は学生応援弁当を実施。その費用の一部を助成した。

### 【予備費】

今年度は、附属高校野球部の甲子園出場祝金（夏・春各60万円）の寄付、学生応援弁当の秋学期からの増食分の費用負担、父母会役員のポロシャツ制作費として支出した。

#### ○〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要な学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し（貸し出し期限1カ月）便宜を図っている。

#### ○〈特別会計 事業積立金〉

父母会として二松学舎創立150周年事業にむけて、事業積立を行った。

## 収入の部

(単位:円)

項目	予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
1 繰越金	18,555,081	18,555,081	0	前年度繰越金
2 父母会費	31,400,000	31,400,000	0	新入学生4万円×(文学部521名+政経学部255名)編入学生2万円×(文学部10名+政経学部8名)
3 助成費	500,000	0	500,000	大学からの卒業パーティー助成
4 雑収入	1,000	9,266	△ 8,266	受取利息、卒業アルバム教員購入代金(4,500円×2冊)
合 計	50,456,081	49,964,347	491,734	

## 支出の部

項目	予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
1 地区別懇談会費	3,300,000	1,812,350	1,487,650	運営費用(ライブ配信、オンライン個別相談)他
教育研究振興助成		0		
教員の海外研修助成費	600,000	0	600,000	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止
海外研修引率者助成費	500,000	500,000	0	海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
就職指導支援経費	1,000,000	428,480	571,520	SPI、ES対策講座等キャリアセンターの就職指導助成
新入生教育助成費	200,000	198,000	2,000	「学生生活スタートブック」購入経費 900部
小 計	2,300,000	1,126,480	1,173,520	
課外活動助成	0			
課外活動活性化助成費	500,000	500,000	0	課外活動実施に伴う経費の一部助成
課外活動団体助成費	500,000	30,000	470,000	課外活動団体への助成・全国大会出場助成・学外発表会助成等
学生顕彰費	400,000	50,000	350,000	個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成
小 計	1,400,000	580,000	820,000	
4 大挙行事等への助成費	1,200,000	1,166,000	34,000	新歓式典・学園祭など大挙行事・学生会主催行事への助成
5 卒業記念パーティー	7,600,000	6,921,560	678,440	卒業パーティー運営経費(2022年度は卒業記念品)
6 卒業記念品	3,700,000	3,726,460	△ 26,460	卒業アルバム作成経費
7 奨学金	5,000,000	4,200,000	800,000	「成長支援型(資格・能力取得育英)奨学金」57名(うち1名は2021年度採用分)
8 慶弔費・災害見舞金	200,000	89,470	110,530	学生・父母及び専任教員の死亡に対する供花料及び災害見舞金 7件
会報発行	0			
印刷・制作費	1,200,000	695,750	504,250	父母会報年4回発行、116～119号
発送費	1,400,000	1,132,953	267,047	会報発送 116～119号
小 計	2,600,000	1,828,703	771,297	
外国人留学生支援に関する助成費	300,000	300,000	0	外国人留学生の学習活動等への支援
事業費合計	27,600,000	21,751,023	5,848,977	
11 通信費	650,000	537,392	112,608	総会資料等発送費、はがき・切手等
12 印刷費	650,000	589,420	60,580	定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費
13 会議費	700,000	460,680	239,320	定期総会・役員会等
14 交通費	380,000	133,320	246,680	役員会等へ出席する役員の交通費
15 消耗品費	100,000	10,824	89,176	事務用品等購入経費
16 雑 費	80,000	525,301	△ 445,301	振込手数料、学生金庫基金(44万円)の口座移管、その他
運営費合計	2,560,000	2,256,937	303,063	
1 宮繕助成費	300,000	300,000	0	学生施設の緊急を要する補修等及び観葉植物設置補助
2 就職指導支援経費	2,500,000	1,501,500	998,500	キャリアセンターの就職指導(キャリアカウンセラー等委託費)助成
3 事業積立金	2,000,000	2,000,000	0	大学における特別事業への支援のための積立
4 創縁祭参加経費	180,000	112,617	67,383	創縁祭参加関連、喫茶室運営経費
5 食育に関する助成費	540,000	540,000	0	学生応援弁当200円×2,700食分
予 備 費	14,776,081	1,304,212	13,471,869	附属高校甲子園出場祝金、応援弁当増食費用、役員ポロシャツ制作費
合 計	50,456,081	29,766,289	20,689,792	
差引残高(次期繰越金)	0	20,198,058	-	

# 2023年度予算の概要

**【経常費】**

**1. 〈地区別父母懇談会〉**

2023年度の地区別父母懇談会は、7月頃に九段キャンパス中洲記念講堂にて、2022年度同様オンライン併用のハイブリッド式の懇談会を実施する。またコロナ禍において実施を見合わせてきた、地方での開催も再開する予定(予定地:茨城県、長野県)。

**内 容**

- ・大学の現況報告
- ・学生生活・学習状況・就職状況についての説明
- ・個別相談等
- ・その他

**2. 〈教育研究振興助成〉**

(1) 教員の海外研修に対する助成

教員の海外研修旅費の一部を助成する。

(2) 海外研修学生引率者助成

2023年度も中国語圏・英語圏・韓国語圏での語学研修が予定されているので、その旅費の一部を助成する。

(3) 就職指導支援経費

キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。今年度は、「SPI対策講座」「日本語検定」「就職筆記対策」「就職活動中の支援」の助成をする。就職課程センターで実施する各種講座についても支援を行う。

(4) 新入生教育助成

大学で発行している学生生活の手引『キャンパスライフ』を補充するものとして、『学生生活スタートブック「学生生活は危険がいっぱい2023年度版」を購入し、新入生全員に配布する。

**3. 〈課外活動助成〉**

学生のクラブ・サークル等課外活動の実施に伴う経費の一部を助成する。

(1) 課外活動活性化助成

課外活動団体の練習時間の延長、及び休日に行う対外試合等によるスクールの運行等経費の一部を助成する。

(2) 課外活動団体助成

クラブ・サークル等課外活動団体の活動費(全国大会出場経費の一部、学外発表会経費の一部等)を「課外活動団体助成費取扱い要領(内規)」に従い、助成する。

(3) 学生顕彰

ボランティア活動等の社会活動、国際交流、部活動で特に顕著な業績が認められる団体並びに個人を表彰するとともに奨励金を支給する。

**4. 〈大学行事等への助成〉**

学生団体が主催する「新入生歓迎式典」「学園祭(創縁祭)」等に経費の一部を助成し学内の活性化を図る。

**5. 〈卒業記念パーティー〉**

2023年度卒業パーティーを開催する。

**6. 〈卒業記念品〉**

卒業記念品として卒業アルバムを卒業生全員に贈呈する。

**7. 〈奨学金〉**

下記の奨学金を給付する。

二松学舎大学父母会成長支援型(資格・能力取得育英)奨学金

【対 象】 奨学金の受給資格は、大学の正規課程に在籍する学部生とし、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 公立学校教員採用試験合格者
- (2) 公務員試験合格者
- (3) 父母会が指定した資格の取得者

【給付額】 3万円～15万円(取得した資格や合格した試験に応じて)

【対象学年】 1～4年次

【申請時期】 当該年度10月

【他制度併用の可・不可】 可

**8. 〈弔慰金・災害見舞金〉**

「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱い要領(内規)」に従い、会員(父母)・学生・専任教職員の死亡に対し弔慰金または供花をもって弔意を表す。さらに、火災や自然災害等で学生の自宅やアパート等が被災した場合は、災害の軽重に応じて見舞金を支給する。

**9. 〈父母会報の発行〉**

大学・父母会の現状、学生生活の状況を会員に伝えるための機関紙「父母会報」を、年間4回発行する。

**10. 〈外国人留学生支援に関する助成〉**

外国人留学生の支援に関する活動は、1999年度から父母会事業の一環として位置づけ実施している。具体的には、留学生との交流・親睦を図ることを目的とした研修旅行(日本文化探訪プログラム)や、親睦会費用の一部を助成する。

**【特別事業費】**

**1. 〈営繕助成等〉**

学生食堂等に観葉植物を設置する。校舎等における緊急を要する補修等に助成する。

**2. 〈就職指導支援経費〉**

キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。

**3. 〈事業積立金〉**

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを始め、周年事業等に予算執行を行ってきた。2023年度は、200万円を計上する。

**4. 〈創縁祭参加経費金〉**

本学学園祭「創縁祭」に父母会として無料喫茶ルームを運営するため、コーヒー、

紅茶及び茶菓等購入費用を計上する。

**5. 〈食育に関する助成費〉**

2016年度から「100円朝食」、2021年度から「学生応援ランチ」に助成しており、2022年度から「学生応援弁当」に助成を行っていた。2023年度も引き続き「学生応援弁当(物価高騰に伴う単価増200円/食→270円/食)」の助成を行う。

◇〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要な学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し(貸し出し期限1カ月)便宜を図っている。本年度もこの制度を継続する。

**収入の部**

(単位:円)

項目	予算額	記 事
1 繰越金	20,198,058	
2 父母会費	32,660,000	新入学生4万円×811名(文学部520名+政経学部291名) 編入学生2万円×11名(文学部3名+政経学部8名)
3 助成費	500,000	大学からの卒業パーティー助成
4 雑収入	1,000	受取利息、その他
合 計	53,359,058	

**支出の部**

(単位:円)

項目	予算額	記 事
1 地区別懇談会費	3,300,000	会場費・弁当等、教職員出張費、オンライン運営委託費、資料製作費等
2 教育研究振興助成		
教員の海外研修助成費	600,000	教員2名の海外研修への助成
海外研修引率者助成費	500,000	海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
就職指導支援経費	1,000,000	SPI・ES対策講座等キャリアセンターの就職指導助成
新入生教育助成費	200,000	「学生生活ハンドブック」購入経費
小 計	2,300,000	
3 課外活動助成		
課外活動活性化助成費	500,000	課外活動実施に伴う経費の一部助成
課外活動団体助成費	500,000	課外活動団体への助成・全国大会出場助成・学外発表会助成等
学生顕彰費	400,000	個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成
小 計	1,400,000	
4 大学行事等への助成費	1,200,000	新歓式典・学園祭など大学行事・学生会主催行事への助成
5 卒業記念パーティー	9,200,000	卒業パーティー運営経費(10,000円×800名)等
6 卒業記念品	4,420,000	卒業アルバム作成経費(4,500円×800名)等
7 奨学金	5,000,000	成長支援型(資格・能力取得育英)奨学金
8 慶弔費・災害見舞金	200,000	学生・父母及び専任教職員の死亡に対する供花料及び災害見舞金
9 会報発行		
印刷・制作費	1,200,000	父母会報年4回発行、120～123号
発送費	1,400,000	会報発送 120～123号
小 計	2,600,000	
10 外国人留学生支援に関する助成費	300,000	外国人留学生の学習活動等への支援
事業費合計	29,920,000	
11 通信費	700,000	総会資料等発送費、はがき・切手等、(原油高コスト増+8%)
12 印刷費	700,000	定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費(原油高コスト増+8%)
13 会議費	700,000	定期総会・役員会等
14 交通費	380,000	役員会等へ出席する役員の交通費
15 消耗品費	100,000	事務用品等購入経費
16 雑 費	80,000	振込手数料、その他
運営費合計	2,660,000	
特別事業費		
1 営繕助成費	300,000	学生施設の緊急を要する補修等及び観葉植物設置補助
2 就職指導支援経費	2,500,000	キャリアセンターの就職指導<キャリアカウンセラー等委託費>助成
3 事業積立金	2,000,000	大学における特別事業への支援のための積立
4 創縁祭参加経費	180,000	創縁祭参加関連、喫茶室、ホームカミングデー講演会生花寄贈他
5 食育に関する助成費	972,000	学生応援弁当(積算内容は、別紙)
予備費	14,827,058	物価変動など不測の事態を考慮
合 計	53,359,058	

## 2023年度 二松学舎大学父母会定期総会議事録

日 時：2023年5月27日(土) 13:30～15:30

会 場：九段1号館地下2階 中洲記念講堂

講 演：「株式流通市場を理解する ―VTSSを用いた授業運営―」

戸辺玲子先生(専任講師)

会員数：本年度会員数 3,064名

出席者：委任状 1,107名

出席者 61名 合計 1,168名

大学側：中山学長、高岸副学長、江藤文学部長、佐藤国際政治経済学部長、

飛田教学事務部長、中原教学事務部副部長、

三島学生支援課長、杉山学生支援課員

### 1. 開会の辞 司会 藤井由紀子氏

司会者から「本日総会時の会員数は、3,064名であり、父母会会則第9条により委任状を含めて5分の1(612名)以上の出席が必要であること、本日の出席者は61名、委任状は1,107名、合計1,168名であることから本日の総会は成立する旨の説明があった。

続いて、染井父母会長、中山政義学長からそれぞれ挨拶があった。

### 2. 議長指名

司会者から、総会の議長は父母会運営細則により、会長または会長の指名する者となっており、会長から丸田綾氏が指名されているので、丸田議長のもとで議事を進行させたい旨の説明があり、承認された。

### 3. 書記・議事録署名人指名

丸田議長が書記及び議事録署名人として次の各氏を指名した。

書 記 鈴木志保氏

議事録署名人 小平由紀子氏、武石智実氏

### 4. 議 事

#### ◇第Ⅰ号議案〈2022年度事業報告並びに決算〉

染井会長から、議案書に基づき概要説明があった。続いて菅波会計監査・藤井会計監査担当役員から監査報告が行われた。審議の結果、原案のとおり承認された。

#### ◇第Ⅱ号議案〈2023年度役員選出〉

丸田議長から、会則第6条・9条及び父母会運営細則第3条に基づき、総会において役員(会長・会計監査)を選出することとなっているとの説明があった。

丸田議長から大学側に候補者の氏名を発表してもらうのが慣例との説明があり、大学側(学務局長代行飛田教学事務部長)から議案書の通り次の各氏が推薦された。

会 長 小平修氏

会計監査 中台則子氏、渡邊昌子氏

丸田議長が大学側から推薦された各氏について出席の会員に諮ったところ異議なく承認された。

続いて小平会長より就任の挨拶があった。

#### ◇第Ⅲ号議案〈2023年度事業計画並びに予算〉

小平会長から、議案書に基づき概要説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

議事終了後、下記の退任役員へ中山学長から感謝状が贈呈された。

染井直人氏、菅波久美子氏

### 5. 閉会の辞 司会 藤井由紀子氏

#### ◇意見交換会

事前及び会場から寄せられた質問・意見に対し飛田教学事務部長から回答を行った。

その後、中洲記念講堂内で、希望する参加者・父母会役員とで意見交換を行った。

2023年5月27日

議 長 丸 田 綾 ①

議事録署名人 小 平 由紀子 ①

議事録署名人 武 石 智 実 ①

書 記 鈴 木 志 保 ①

## 2023年度二松学舎父母会定期総会 御質問・御意見へのご回答

**【問】 大学側からの通知（学納金は学期ごとの口座振替方式納入に変更等）が遅過ぎるので、もう少し早く通知をいただきたい。**

**【答】** 予てから種々大学からの通知が遅いといったご指摘をいただいております。誠に恐縮しております。例えば、学納金の学期ごとの口座振替方式導入については、2023年2月1日からライブキャンパスの学内連絡及びホームページで、詳細は2023年3月15日からライブキャンパスの学内連絡及びホームページ、更には「はがき」によるご連絡などなるべく早いご連絡に務めてきた所存ですが、情報が思うように行き届かず、誠に申し訳なくお詫びする次第です。

私共としては、積極的な情報公開とそれを受けた皆様からのご指摘を踏まえ、自律的に改善活動を行っていくことが大学運営に課せられた重要な使命であると受け止めています。学納金は、除籍などにより学生の身分異動に大きく影響する事柄だけに、多様な学生を受け入れており、「誰一人置き去りにしない」ような種々のケースの検討に時間を要したことも事実です。

引き続き想定される論点をしっかりと検証し、速やかに通知を出すよう心掛けてまいります。また、御父母等の皆さまにおかれは、保護者ポータルのご活用を図っていただくほか、学生とのコミュニケーションを更に深めていただければ幸いです。

**【問】 就職活動を学生任せにせず、大学側にもっと積極的に関わってほしい。**

**【答】** 本学では、「東洋の精神による人格の陶冶」、「己を修め人を治め一世に有用なる人物を養成する」という建学の精神に基づき、今般のカリキュラム改革でも両学部の学生が将来のキャリアモデルを描き自立して生きる力を持った人材を育てられるよう、未来ビジョン科目の中に必修のキャリア教育科目を設けたところです。

また、学生の就職活動をサポートするキャリアセンターでは、こうした正課授業との連動に加え、3年次生を対象とした「全学生個別面談」を春学期と秋学期に2度行っています。この学生の9割が参加する個別面談では、学生から進路希望先や理由を聞き取り、それを踏まえた就職活動の「現在地」と計画（マイルストーン）の確認を行っています。秋学期には就職活動のマイルストーンのどこまで進んだかの進捗管理を行い、状況に合わせたアドバイスや対策講座などの紹介を行っています。

このように、大学としても就職活動を学生のみに任せず、積極的な支援を行っているところですが、いずれにせよ起点となるのは学生本人の将来設計や主体性となりますので、御父母等の皆さま方におかれは、学生とのコミュニケーションの中で、将来の夢や希望、その実現に向けてどのような行動を計画しているかなど、語り合っていただければと思います。

**【問】 今年度は卒業パーティーを実施できそうでしょうか。**

**【答】** 新型コロナウイルス感染症感染予防対策としての行動制限により、この3年間、卒業パーティーの開催についてご遠慮いただき大変心苦しく残念なことを受け止めております。

ご承知のように、この5月8日、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけがインフルエンザ等と同じ5類となり、行動制限がなくなりました。したがいまして、従来行われていた卒業パーティーを、実施することが許される社会情勢となったと受け止めています。

ただ、主催する父母会のお考えや例年開催場所としておりましたグランドパレスホテルが廃業したこともあり、実施に向けて解決すべき課題があると考えています。今後ともウィズコロナ時代における卒業パーティーの在り方について、父母会とともに考え実現に向けて努力して参る所存です。

**【問】 上層階のレストランはいつ頃から利用可能になりますでしょうか。**

**【答】** 新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、かつて13階学生ラウンジで提供していた「学食」を休止することとなり、ご不便をおかけしています。地下1階の学生食堂は、学生を対象に、平常通り営業しており、数量限定ではありますが、1食200円の「学生応援弁当」と350円の「学生応援ランチ」のほか、バラエティーに富んだ食事を提供しておりますので、積極的にご利用いただければと思います。

ただ、ご承知のように5月8日、新型コロナウイルス感染症の法律上の位

置づけがインフルエンザ等と同じ5類となったとはいえ、ウイルスが消えたわけでもなく、引き続き感染リスクを意識しながら大学運営が続けていかなければなりません。このため、現在のところは、原則として附属高校を含めた本学関係者以外の立ち入りや学食の利用をお断りしており、そうした採算性の下で地下1階の学食に集約して営業しているところです。

私共としては、引き続き感染リスクを意識しながら社会情勢の許す範囲でかつての日常を取り戻すべく、努力や工夫を重ねていく所存ですので、ご理解とご協力の程よろしく願いたします。

**【問】 今回参加することはできませんが、zoomの併用は大変助かります。今後もオンラインでの開催を積極的に取り入れてほしいです。**

**【答】** 父母総会におけるzoomの併用について、好意的な評価を賜りありがとうございます。zoomの併用については、こうしたこともできるといった可能性を大学側からご提案申し上げ、父母会役員の皆様にお認めいただき実現したものです。

父母総会は、お子様等の大学生生活の拠点を实地に検分していただき、大学生生活の実相をご理解いただく大変良い機会でもありますので、是非とも現地でのご参加を期待したいところですが、これからのwithコロナの在り方として、引き続きオンラインの併用を図って参りたいと考えております。

**【問】 学生が授業等で大学内にいる際に、地震等の災害があった場合、避難経路や避難場所等はどのようになっていますか。**

**【答】** 本学は震度6の地震が発生した場合でも耐えうる耐震構造となっておりますので、基本的には窓から離れ、教員の指示に従い机の下に身を伏せる等の防避姿勢をとります。

また火災があった際は、教員が避難誘導を行い、必要に応じて避難場所である北の丸公園等に避難します。こうした避難訓練についても毎年実施するようにしております。

このほか、帰宅困難者用の水・毛布・簡易トイレ・乾パン等の防災用品を備蓄しております。

※追記情報（安否確認サービスについて）

本学では安否確認サービスのシステムを採用しており、震度5以上の地震等があった場合に、各学生から安否状況を大学に知らせていただき、事故やケガ等の連絡があった学生には、個別に状況確認や処置等を行っております。ライブキャンパスにマニュアルを掲載し、事前に登録のお願いをしておりますが、まだ全員の登録が完了していません。この機会に御父母のみなさまからお子様にご確認いただけますと幸いです。確認テストも年間で複数回実施しておりますので、そちらも併せてご協力いただけるよう、お願い申し上げます。

このほか、次のようなお声もいただいております。

いつも父母会報をありがとうございます。父母会や大学の取り組みや思いが分かり、大変満足しております。ありがとうございます。

親が県外に在住しており、子供の状況がなかなかわからない中、父母会はとてもありがたいです。

以前、中洲講堂で開催された磯田さんのご講演とシンポジウムに参加しました。とてもすばらしかったです。視野の広がった学者の方の講演はぶれることなく、多くの学生にも聴いてほしいです。このような企画が増えていくのは、日本のためにもなると思います。

大学としても父母会の皆さま方と連携し諸活動をお手伝いしながら、御父母等の皆さま方がより安心して、また、意義のあることとして、学生をこの学び舎に送り出していただけるよう努力してまいります。

以上

## 編集後記

五月二十七日土曜日に二〇二三年度父母会定期総会を開催致しました。関係各位の御協力のお陰をもちまして滞りなく終了することができました。またご参加頂いた保護者の皆様ありがとうございました。深く御礼を申し上げます。

先日役員会後に、本号でも掲載されている新入生歓迎会POP祭の前日準備の様子を見学する機会をいただきました。突然の訪問にもかかわらずどのサークルも快く見学させてくださり、また色々とお話を聞くこともできました。学生達の楽しそうな雰囲気、明るい笑顔に心癒された一時となり、同時にハキハキと受け答えする姿に、自分の頃はこんなにしつかりしていたかなと思ったりと有意義な時間を過ごさせていただきました。

コロナに加え様々な感染症が流行しましたが、まだ気の抜けない日々が続きますが、父母会役員会一同は学生の皆さんがより良い環境で学生生活を送れるよう、微力ではありますがお手伝いさせて頂きたいと思っております。保護者の皆様におかれましては引き続き父母会活動へのご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。